～彫刻完成までの軌跡

2014.12月
袋井市彫刻のあるまちづくり推進委員会彫刻選考コンペティション
（模型によりプレゼンテーションする重岡氏）

「大地から宙へ」は応募のあった12作品の中から、厳正な審査によって決定しました。

2015.2月～6月　原型制作（伊東市内アトリエ）

各パーツごとに作成した粘土型をFRPでかたどる作業を繰り返し、ブロンズ用の原型を制作します。

2015.5月
彫刻制作現場見学ツアー
（伊東市内アトリエ）

ツアーに応募された市民の皆さん18名がアトリエを訪問。重岡さんからブロンズ彫刻の制作工程をお聞きしたり、伊東市内に設置されている重岡さんの作品を見学しました。

2015.6月～2016.2月
ブロンズ鋳造、溶接
（埼玉県川口市内ブロンズ鋳造所）

いよいよブロンズに鋳造します。原型をもとに、銅を流し込んで作ります。ブロンズ像の内部は空洞のため、内部にステンレス支柱を溶接し補強**します**。

2016.2月　基礎工事開始

写真提供協力：武智幹夫

2016.2月27日　　彫刻現地搬入
早朝から大型トレーラーを使用しての搬入作業後、レッカーで吊り上げ、現地に組み上げる作業を行いました。

2016.2月末～3月上旬　　現地溶接、仕上げ
足場を設置し、いよいよ最上部のパーツを溶接。全てのパーツが組み上がり、全長約8.5mの彫刻が姿を表しました！！

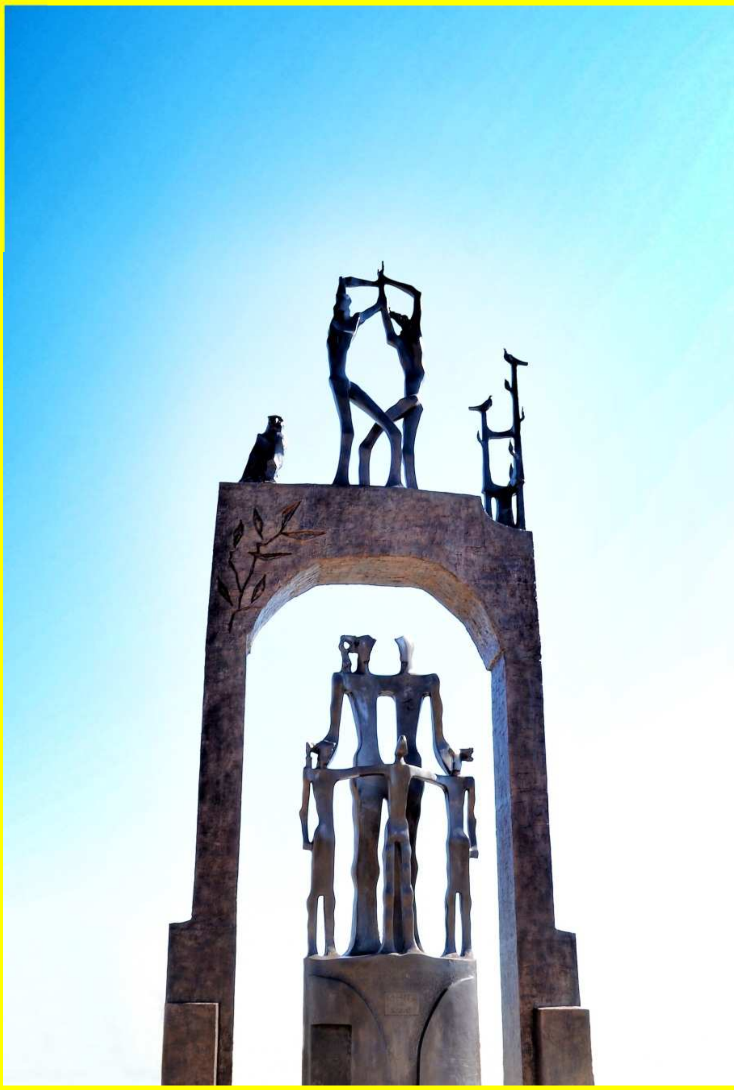
遂に完成!!

【タイトル】

「大地から宙（そら）へ」
（ブロンズ製）

【制作者】

重岡（しげおか）　建治（けんじ）
（静岡県伊東市在住）

【作品の概要】

下の部分に家族をイメージした群像をおき、彫刻を支える上部のアーチには健康を表した伸びやかな男女の群像の姿を取り付けています。
台座正面には大地から湧き出る泉を表現し、左には市の鳥「フクロウ」、右には若葉の芽吹きを施しています。